

みかわさ

2017年3月

第56号

浄土真宗本願寺派
福岡教区御笠組



舍衛城双神変像

アフガニスタン 4~5世紀 『ブッダ展』より

釈尊の弟子となつた人々には、出家を決意するのにどのようなきっかけがあつたのでしょうか。いろいろな經典や仏教説話に記されている仏弟子物語によりることができます。

インドの仏教説話集中に、釈尊が舍衛城で、仏教以外の教えを説く六人の宗教者（六師外道）と神変（奇蹟）を示す競争を行い、釈尊が現した神変をみた多くの者たちが、釈尊に帰依したという話があります。

その後さらに坐して瞑想を深めた釈尊は、空全体を覆うほどの大千の仏を現されとされ、この奇蹟も仏教美術の題材になつています。

『阿弥陀經』の六方段では、南方と上方世界の諸仏の中に「大焰肩仏」、北方世界には「焰肩仏」という名の仏が出てまいります。サンスクリット語の原典を見ますと、この仏の名は「大きな炎のかたまりを持つ仏」という意味の語で示されています。

『阿弥陀經』の訳者鳩摩羅什（くまらじゆ）は、自分の国で双神変の仏像をみていたのか、あるいはインドへの留学経験もありアフガニスタン辺りで双神変の仏像を観た経験から、この訳語を用いたのではといわれています。

題字：小山実千代（伯東寺坊守） 解説：中川正法（西蓮寺住職）

御笠組巡番報恩講のお礼

願心寺門徒總代

荒瀬

義信(釋心弘)

御笠組巡番報恩講には、組内各寺院の法事中様はじめ若院様・坊守様・又各寺院の門徒の皆様にお参りいた

だき有難うございました。

多くの方々にお参りいた

有難うございました。

だき、稚児行列をはじめ盛大に法要を當む事が出来ました。これも一重に皆様のお蔭だと心よりお礼もうしあげます。

巡番報恩講を終えて

願心寺住職 中川 清昭(釋清昭)

昨年秋の御笠組巡番報恩講にはご住職、坊守様をはじめ沢山お参りいただきありがとうございました。

今回は、私なりに新しい試みを行いました。一つは、ご法話のテーマを決めたということです。「親鸞

献香の前に献供をいたしました。山口でとれた米・生姜・野菜など門徒会役員の方々に備えていただきました。これによつてみんなが参画する法要という意識が高まつたように感じました。

聖人は私たちに何をつたえたかったのか」というテーマを設定し、お話をいただきました。テーマ設定は、聞く方々に心の準備が出来、法話の内容がはつきりとします。

二つ目は、献灯・献花・

また、稚児行列の様子が本堂のふすま絵になりました。是非見に来て下さい。

それぞれのお寺が、その地域性や特性を活かしながら、御笠組巡番報恩講がいつまでも続くことを念願しています。



大切な人を送る時、私たちができること～

ご葬儀を真心込めてお手伝いします



有限会社

筑紫葬祭

葬儀式場 セレモニー筑紫

本社／セレモニー筑紫

〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東4丁目3-5

TEL 092-925-4444

FAX 092-925-4949



ルンビニープラザ

お仏壇の**コガ**

太宰府店

(駐車場完備)

太宰府市都府楼南1丁目1-32 ☎(092)923-8080

御笠組門徒推進員連絡協議会二十周年記念式典が、平成二十八年十一月二十八日(月)御笠組長ご臨席のもと伯東寺で開催致しました。式典は、行事鐘に始まり、献灯・献花・献香、勤行、会長・組長・初代会長挨拶と肃々した後、「門徒推進の役割」のテーマで、願應寺 中川清昭住職による記念講演を聴聞致しました。門徒推進員が目指す実践運動の指針として受け止めることが出来たお話でした。

この記念式典が二十年という節目に、我々会員が色々な課題に取り組み、連絡協議会の発展を願い、お念佛申す日々を歩む活動を誓う記念式典となりました。

閉会後、祝賀会会場を「アルカディア太宰府」に移動して門徒同朋の親睦を深めました。

二十周年記念式典を開催

門徒推進員連絡協議会会長

安樂 國夫(釋徳智)



街頭募金

1月31日(火) JR二日市駅にて

御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事
設 計 ・ 施 工
石のことなら気軽に御相談下さい。

(有)矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆
筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574
(FAX) 924-8212

JA筑紫 誠心誠意を大切にします。もしものとき… 

筑紫農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市二日市南2-1-3
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394

組合員・NEWにじの会 会員募集!!

仏壯冬季研修会と 『新春のつどい』

仏教壯年会連盟会計
安紹寺

脇山 忠臣（釋太智）

二〇一七（平成二十九）年一月

二十一日、真光寺において冬季研修会を開催しました。天候にも恵まれ、七十名の壮年会の会員又ご法中の皆様、多数の参集を頂きました。

合掌・礼拝で始まり、勤行『重誓偈』を全員で唱和致しました。

教円寺花園正智住職に『拝読淨土真宗のみ教え』（他力本願）についてお話を頂きました。他力本願の「他力」とは、他人任せではなく、阿弥陀如来のはたらきであり、これを他力という。「本願」とは、自分の欲望を満たすような願いではなく、人びとにすくいの手を差しのべることである。講師自身も確かに、いま誰かの力を頼いていると感じる事があつて僧侶を目指されたそつです。

「無財の七施」という言葉があり

一、眼施：優しいまなざし。

二、和顏悦色施：いつもにこやか笑

三、言辞施：思いやりのこもった優しい言葉で接する。



四、身施：自分の身体でできることを奉仕する。

五、心施：他の人の為にこころ配りをする。

六、床座施：席や場所を譲つてあげる。

七、房舍施：雨や風をしのぐ居場所を提供してあげる。

以上の事を一日一善として真身こもつた布施を実行できれば、他の布施も自然に出来るようになるなど、大変有意義なお話でした。

場所を変えて、大觀荘にて『新春のつどい』を催し、最初に鷺山智英組長の挨拶で始まりました。組内のご住職、若院さんも一緒に大勢の参加者がおり、この雰囲気の中で各寺院での活動、意見交換など、これらの会員としての自覚、明日に継ぐ大変意義のある「新春のつどい」となりました。

仏婦・若婦合同バスハイク



7月7日(木) 山口別院・瑠璃光寺 96名参加

草苑

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881
草苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

ユウベル 積善社 筑紫 斎場

太宰府市吉松4丁目6-1 (青葉台入口信号角)
0120-14-0789 (フリーダイヤル)

子ども一泊研修会

子ども報恩講

楽しかったお寺のおとまり

西福寺 三年 中島めい

わたしは、お寺のおとまりへ行きました。はじめに、「らいはいのうた」を、うたいました。

一日間のお寺の研修会

来光寺 五年 藤本円佳

そのあとに、女の子のへやに行つて、プールに行くじゅんびをしました。

プールで古場さらちゃんとあそびました。おわってからきがえて、自由時間でしたあとバーベキューで、さらちゃんとバーベキューで、おねえちゃんと、みれいちゃんと、おみちゃん、さきと花火を、あみちゃんと、さきちゃんとしました。

二日目は五時二〇分ぐらいに目がさめました。そのあと

みんなきがえました。きがえおわつたあとちよつとだけあそんで、「しんじんのうた」をういました。その後に、ごはんをたべて、ちよつとあそんで、虫をおしえにきた人がいました。けんぴきょうをみたり、しかのつのをさわりました。乐しかつたです。

(写真…報恩講・光蓮寺)



ごく面白かったです。

教円寺では、年4回の各法要で、仏教婦人会のご協力のなか、四季折々の食材を使用し、お斎を用意しております。左記の写真は報恩講でのお斎の写真で、「小豆ご飯、金時豆、たくあん、煮物、みかん、味噌汁、柿と大根のぬた」です。



教円寺お斎



お仏壇のよーかど

お仏壇・仏具のご相談はお電話を！

筑紫野市二日市中央通商店街

092-924-1111

はせがわ

つなぎます。心と、いのちと、人。

靈園・墓所・墓石のご相談も承ります。

太宰府インター店 太宰府インター グッディそば 092-503-0800



Q お名号には、『南無阿弥陀仏』の六字以外に、九字や十字の名号があるのは何故ですか？

A 浄土真宗のお仏壇のご本尊の両脇には、親鸞聖人や蓮如上人の絵像が掛けてある事が多いのですが、お仏壇に向かって右側には「帰命尽十方無碍光如来」、向かって左側には「南無不可思議光如来」のお名号が掛けてあるのを見る事があります。

この2つは、実はどちらも「南無阿弥陀仏」の事なんですね。

「帰命尽十方無碍光如来」とは、天親菩薩の『浄土論』の「十方世界にことごとく満ち満ちて、何事にも妨げられる事無く救おうとする阿弥陀如来のお徳に従います」という意味です。

また、「南無不可思議光如来」は、曇鸞大師の『讚阿弥陀仏偈』の「私たちのどんな無明の闇にも遮られる事無く、私達を呼び覚まして下さる智慧の光である阿弥陀如来のお徳に従います」と言われた言葉です。

ですので、九字の名号も十字の名号も「阿弥陀如来」のはたらきをあらわした言葉であり、「南無」や「帰命」とありますように「阿弥陀如来に深く帰依します」という仏恩報謝の言葉でもあるのです。

天親菩薩・曇鸞大師といえば、そのお二人から一文字づつもらって「親鸞」と自らを名告られたよう、親鸞聖人にお念佛のみ教えの要を伝えて下さった方々です。

九字や十字の名号をお仏壇に掛ける事は、「聖人をはじめとして、お念佛のみ教えを伝えて下さった様々な方々のお念佛に感謝して頂く」そのような意味もあるのかもしれませんね。

来光寺衆徒 益永 隆寛（釋隆寛）

年末になると、手帳を見て一年間を振り返ります。月ごとの行事を思い返したり、なかなか思いだせなかつたりといろんな物事に気づく事も出来ずに日々過ごし、終つた事として反省する事も無く新年を迎えている私がそこに居る。こんな私を仏さまは、またかく包みこみ私の道を照らしてくれてくださっているのに、背を向けている自分がいる恥ずかしい日暮しです。今回の組報は如何致しております。尚投稿を頂いても紙面の都合により掲載することが出来ない場合があります。

編集後記

法相談

○プライバシーは必ず守られます。
問い合わせ (○九二) 七七一九〇八一

相談専用電話
○九二) 七六一〇三四

※弁護士が相談に応じます

初回相談無料
毎週月曜日～金曜日
午前八時半～午後六時

**ビハーラ・ライン・福岡
こころの電話**

相談電話 [092]711-1432
毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く
午後1:00～午後4:30
プライバシーは守ります
(相談内容)

大規模葬から家族葬まで…
もしもの時に安心な…互助会会員募集中

(株)のがみ 善光会館 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)

歴史と伝統の技で創る…仏壇・寺院用品
浄土真宗専門店

漆

◇福岡店

朝倉本店
工場<夢工房>

(株) 仏掌堂

福岡市南区長丘1-9-1
(092)561-7070(代)
福岡県朝倉市牛鶴32
八女市室岡1299